

「リスクアセスメントの導入・定着に向けて」をテーマに

平成21年度 **名北労働災害防止大会**

開催

事業主、安全衛生担当者、第一線監督者300名が参加

盛況の名北労働災害防止大会（小牧勤労センターにて）



当協会小牧支部・春日井支部は去る3月3日、「リスクアセスメントの導入・定着」をメインテーマに、名古屋北労働基

準監督署、小牧市、春日井市、小牧商工会議所、春日井商工会議所の後援を得て、25回目となる平成21年度の「名北労働災



お話する加藤課長



あいさつする原田署長

害防止大会」を小牧市の小牧勤労センターで開催した。同大会には名古屋北労働基準監督署管内の全業種を対象に事業主、安全衛生・労務人事担当者および現場の第一線監督者約300名が参加した。

最初に当協会進藤小牧支部長の開会の辞、原田名古屋北労働基準監督署長のあいさつがあり、引きつづき同監督署・加藤安全衛生課長の「リスクアセスメントの導入・定



講演する雷門喜助師匠



発表するCKD(株)大西氏

着に向けて」と題する安全講話があった。

このあと、CKD(株)人事部（安全衛生委員会事務局）大西歩氏の「当社のリスクアセスメントの取組みについて」の事例発表、落語家 雷門喜助師匠の「お笑い安全講演心にユーモアを……」と題する特別講演があった。最後に与語春日井支部長の閉会の辞をもって、大会は盛況のうちに幕を閉じた。